

杵築市デジタル田園都市構想総合戦略

令和 7 年度 期末評価

令和 8 年 3 月
(みらい都市創生課)

目 次

1. デジタル田園都市構想総合戦略期末評価.....	1
1－1：基本目標.....	1
1－2：評価の方法.....	1
1－3：評価の基準.....	2
2. 評価対象の概要.....	2
2－1：4つの基本目標と主要 KPI の令和 7 年度進捗状況.....	2
3. 各基本目標に付随する事業評価一覧.....	3
3－1：【基本目標①】「きつき」に仕事をつくる.....	3
3－2：【基本目標②】「きつき」に人の流れをつくる.....	4
3－3：【基本目標③】「きつき」で結婚・出産・子育ての希望をかなえる.....	5
3－4：【基本目標④】魅力的な「きつき」づくり.....	6
参考資料.....	7

1. デジタル田園都市構想総合戦略期末評価

1-1：基本目標

【基本目標①】「きつき」に仕事をつくる 【取組方針①】農林水産業の振興、杵築ブランド「きつきのきづき」の推進、創業支援事業の推進、企業誘致の推進、商工業の振興 【数値目標】 ・企業誘致件数：R5（2023 年度）4 件 → R11（2029 年度）15 件（5 年間のべ） ・創業件数：R5（2023 年度）7 件 → R11（2029 年度）44 件（5 年間のべ）
【基本目標②】「きつき」に人の流れをつくる 【取組方針②】観光事業の推進、移住定住施策の充実、関係人口の創出 戦略的な情報発信 【数値目標】 ・移住者数：R5（2023 年度）120 人 → R11（2029 年度）680 人（5 年間のべ） ※移住施策による移住者とする
【基本目標③】「きつき」で結婚・出産・子育ての希望をかなえる 【取組方針③】結婚、子育て、子育て支援の充実、地域共生社会の推進、学校教育の充実 社会教育の充実、スポーツ活動の推進 【数値目標】 ・合計特殊出生率：R5（2023 年度）1.28 → R11（2029 年度）1.56（R10） ※大分県福祉保健企画課調べより
【基本目標④】魅力的な「きつき」づくり 【取組方針④】健康（幸）づくりの推進、必要な医療・介護サービスの提供体制の充実 人口減少社会に対応したまちづくりの推進、公共交通の充実 デジタル技術の活用による市民サービスの向上、地域コミュニティの活性化 安心・安全な暮らしの推進 【数値目標】 ・主観的健康（幸）観：R5（2023 年度）67.5% → R11（2029 年度）73.5%

1-2：評価の方法

- （1）内部評価：主要 KPI の基礎となる事業や取組内容の所管課において、令和 7 年度の実施内容、達成状況及び要因分析を行う。
- （2）外部評価：産官学金労言の有識者により、1-3 に掲げる基準による実施状況の評価を行うほか、改善策について提言を行う。
- （3）期末評価：外部評価指摘を受けたものについて、各 KPI 所管課において、令和 7 年度の実施内容の改善方針を定め、期末評価とする。

1 - 3 : 評価の基準

期末評価における判定と基準	
A	対策や事業が施され、目標を上回る効果が出ており、良好と認められる。
B	目標を 80%以上達成し、かつ課題等の整理がなされ、対策が講じられている。
C	目標値の達成に向けて、改善や工夫が必要と思われる。
D	外的要因・財政状況の変化等、本格着手が可能になるまで注視を継続する。

2. 評価対象の概要

2 - 1 : 4つの基本目標と主要 KPI の令和 7 年度進捗状況

基本 目標	主要 KPI 名 (数値目標)	単位	目標	実績	達成率	評価
①	企業誘致件数	件	3	1	33.3%	C
①	創業件数	件	8	9	112.5%	A
②	移住者数（移住施策によるもの）	人	128	137	107.0%	A
③	合計特殊出生率	人	1.33	1.22	0.0%	D
④	主観的健康（幸）観	%	69.0	90.1	130.6%	A

3. 各基本目標に付随する事業評価一覧

3-1:【基本目標①】「きつき」に仕事をつくる

A 評価	B 評価	C 評価	D 評価	A・B 比率
5	4	3	0	75.0%
【概要】 (事業 01 農林水産業の振興) ・新規就農者については、ファーマーズスクールの取り組みにより目標を達成できた。 ・薬用植物栽培面積は順調に拡大しているが、生薬以外の活用方法を検討していく。 ・骨切りハモの出荷量については、加工施設の充実により出荷量の増加が図られている。 (事業 02 杵築ブランド「きつきのきつき」の推進) ・ふるさと納税での主力商品に対する寄附が苦戦したため、地域商社の売上高及びふるさと納税での寄附額についても目標を達成することができなかった。 (事業 03 創業支援の推進) ・商工会員数は若干減少したが、創業件数は 9 件あり、目標を達成することができた。 (事業 04 企業誘致の推進) ・企業誘致件数は目標に届かなかった。奨励制度の見直しも視野に入れながら、積極的な誘致活動を行っていく。また、業種を特定せずに幅広く移住定住の観点からも市民ニーズの高い分野の関連産業の誘致に努めていく。 (事業 05 商工業の振興) ・商店街の店舗数については、目標を若干下回る結果となった。創業支援や関連機関との連携のうえ、商店街の店舗を確保していく。 ・事業承継支援件数は大幅に上回ることができた。今後も、積極的に情報提供や相談会を通じ支援を行っていく。				
【外部評価】 骨切りハモの出荷量については大手チェーン店などの安定的な販路を獲得しており評価できる。 きつきブランド認定品の売上は大きく目標を下回っており、情報発信の強化と新たなヒット商品の開発を地域事業者と取り組んでいただきたい。 大分県よろず支援拠点等の支援機関を活用し販路拡大や商品開発のサポートを積極的に行っていただきたい。 企業誘致については、製造業に限らず様々な分野の業種に対するアプローチをしていただきたい。				

3-2:【基本目標②】「きつき」に人の流れをつくる

A 評価	B 評価	C 評価	D 評価	A・B 比率
5	2	3	0	70.0%
【概要】 (事業 06 観光事業の推進) ・食の充実や PR 動画の作成、忍者イベント等を実施したことにより、観光客数、観光消費額ともに概ね目標値に近い達成度合いとなっている。しかし、コロナ以前の水準には回復していないため、地域資源を活かした体験コンテンツの開発などを進める必要がある。 (事業 07 移住定住施策の充実) ・移住者数は堅調に推移し目標を達成することができた。 ・建築資材の高騰により新築・中古住宅ともに購入や改修を見合わせているケースが増加し、定住施策を活用した市内転居者数は目標を達成することができなかった。 ・空き家バンクの新規登録件数の伸び悩みと相続の関係で長期交渉ケースが増加したことにより、空き家バンクでの成約物件数は目標を達成することができなかった。 (事業 08 関係人口の創出) ・地域おこし協力隊活動人数については、募集をするも採用することができず、目標を達成することができなかった。 ・ふるさと納税については、ポータルサイトの増加やメルマガ配信、広告出稿等により露出の増加を図ったが、目標を達成することができなかった。サイトの改修や新たなヒット商品の開発、広報施策の強化に取り組んでいく。 ・企業版ふるさと納税は、新たにマッチングサービスの導入も行い、目標を達成することができた。 (事業 09 戦略的な情報発信) ・市公式 web サイトアクセス件数及び SNS フォロワー数ともに目標達成することができた。特に広報専属の地域おこし協力隊員の積極的な投稿により堅調に推移している。				
【外部評価】 移住者数については堅調に推移しており、引き続き着実な取り組みを実施していただきたい。 活況なインバウンド需要やクルーズ船の寄港、ハーモニーランドのエンタメリゾート化といった外部環境の好転を確実に捉え、これらを原動力として観光事業の一層の活性化を図っていただきたい。 観光消費額向上のため、宿泊機能の強化と併せ、遊休不動産（空き家・空きアパートなど）の利活用を検討いただきたい。 情報発信にあたっては、他自治体の先進事例を参考にしつつ、若年層の豊かな発想や発信力の活用、さらには同窓会組織との連携など、多角的なアプローチを検討いただきたい。				

3-3:【基本目標③】「きつき」で結婚・出産・子育ての希望をかなえる

A 評価	B 評価	C 評価	D 評価	A・B 比率
5	3	0	1	88.9%
【概要】 (事業 10 結婚、子育て、子育て支援の充実) ・杵築市では様々な子育て施策を実施しているが、若年世代の流出や価値観の変化等により合計特殊出生率は低下が続いており目標を達成することができなかった。子育て支援の充実を図りながら、雇用対策の充実やまちなかのにぎわいづくり、交通施策など横断的な取り組みを実施し、若い世代が住みやすく子育てしやすい環境整備に努めていく。 ・母子手帳アプリの登録者数は、順調に増加し目標を達成することができた。 (事業 11 地域共生社会の推進) ・「まるっと」への相談件数は概ね目標値程度となる見込み。困りごとをワンストップで受け止める体制整備はできているが、専門人材の確保に苦慮している。 ・個別避難計画の策定については、目標値の 8 割程度の達成度見込み。今後も、各関係機関に協力してもらい、計画策定を進めていく。 (事業 12 学校教育の充実) ・学力定着状況調査については、概ね達成できた。今年度の調査を基に、若干目標を下回っている項目の改善を図っていく。 ・ICT 機器の活用状況は目標を達成できた。ICT 機器の配置が完了したことに伴い、令和 8 年度以降は、目標値を週 1 回の活用から週 3 回に変更し取り組みを進めていくこととする。 (事業 13 社会教育の充実) ・中央公民館及び地区コミュニティセンターの利用者数は目標を達成することができた。 ・中央公民館主催教室の参加者数についても目標を達成することができた。今後も、利用者ニーズの把握に努め、利用しやすい施設、参加しやすい教室の運営を行っていく。 (事業 14 スポーツ活動の推進) ・スポーツ施設利用人数は、目標を達成することができた。施設の老朽化対策や LED 化への対応を計画的に実施していかなければならない。 【外部評価】 合計特殊出生率は全国的に低下傾向にあり、短期間での劇的な改善は困難な状況にある。そのため、個別施策の枠組みを超えた横断的な連携を図り、総合的かつ中長期的な視点に立った取り組みを継続していただきたい。 こども達の郷土愛を育むための施策や、高校生が園児との交流を通じて将来の家庭生活を具体的にイメージできるような取り組みについて、検討いただきたい。 ICT 機器の活用状況については、週 1 回の活用から週 3 回の活用に目標設定を上方設定し取り組むことは評価できる。より一層の効果的な取り組みを実施いただきたい。				

3-4:【基本目標④】魅力的な「きつき」づくり

A 評価	B 評価	C 評価	D 評価	A・B 比率
8	5	1	0	92.9%
【概要】 (事業 15 健康（幸）づくりの推進) ・大分県健康寿命補助指標県内順位については、男性は達成したが女性は達成できなかった。 ・主観的健康（幸）観は、目標を大きく上回り達成することができた。 今後も、健康寿命の延伸を目指し様々な場面での啓発を行っていく。 (事業 16 必要な医療・介護サービスの提供体制の充実) ・医療 MaaS 事業の参加機関数及び常勤整形外科医の確保については、目標を達成することができた。今後も、市内で必要な医療・介護サービスの提供体制の充実を図っていく。 (事業 17 人口減少社会に対応したまちづくりの推進) ・居住誘導区域内への転入割合及び人口については、目標を達成することができた。立地適正化計画の改定に伴い居住誘導区域の見直しを行うため、令和 8 年度以降については目標を変更する予定である。 (事業 18 公共交通の充実) ・コミュニティバスの 1 便あたりの乗車人数は大幅に目標を下回る見込み。乗合タクシーは、概ね達成する見込みである。1 便あたりの乗車人数が少ないため、次年度から地域公共交通利便増進実施計画の策定に着手し、効率的で利便性の高い公共交通の再編を目指す。 (事業 19 デジタル技術の活用による市民サービスの向上) ・オンライン申請可能事務分野数及び光ファイバ整備率は目標を達成できた。特に、山香・大田地域の光化については、国費を活用した民設での整備に方針転換を行い、早期の整備完了が見込まれる。 (事業 20 地域コミュニティの活性化) ・困ったときに相談できる人がいる及び地域コミュニティ活動が盛んだと思う人の割合については、概ね達成見込み。一定程度のコミュニティの醸成は図られているものの、様々な活動を通じた日常的な交流や声かけ、地域活動の情報発信はまだまだ十分とはいえないため、強化を図ることが必要と考える。 (事業 21 安心・安全な暮らしの推進) ・避難訓練参加世帯率は、概ね達成。今年度は、大分大学と連携し「減災シンポジウム in 杵築市」も開催したところ約 300 名の参加者があり、市民の防災減災意識の向上を図った。				

・中間評価の指摘により目標を交通事故死者数から交通事故死者・重傷者数に変更し、目標は達成できた。

【外部評価】

利用者の利便性向上と効率的な運行を実現するため、コミュニティバスや乗合タクシー、既存の交通事業者との緊密な連携を図りつつ、デジタル技術の活用や新たな運行形態を取り入れた、持続可能な交通網の再編に取り組んでいただきたい。

参考資料

- ・別表 1：事業 KPI 総括表
- ・別表 2：事業 KPI レビューシート